

議会報告会報告書（第1班）

開催日時	平成26年11月12日（水）19時00分～20時20分
開催場所	好摩地区公民館
出席議員	大畑正二 副議長 報告者 熊谷喜美男 中村亨 菊田隆 藤村秀利 藤澤由蔵 守谷祐志 吉田孝人 司会者 伊勢志穂, 鈴木努
参加人数	17人

（質 疑）

質疑：災害時の議会や議員の対応について指針を定めたとのことだが、具体的にどのような対応をするのか、指針の内容は。

回答：東日本大震災時の教訓から、市が災害対応に専念できるよう必要な協力・支援を行うなど議会としての災害対応の基本姿勢5項目と、それに対応する基本方針を定めた。基本方針では、盛岡市災害対策会議を設置して情報共有や情報提供を行うことなどを定めている。



質疑：滝沢市が誘致した産業廃棄物処理施設について、今年の2月と7月に開かれた説明会では、水質汚染を懸念し、建設をやめるように盛岡市から滝沢市に働きかけをしてもらえないかという要望があったが、市の対応など現在の状況は。

回答：盛岡市から滝沢市に申し入れはしているが、今のところ担当部から議会に対して細かい説明はない。生出湧口は盛岡の大切な水資源であり、今後も議会として質疑提言していく。

質疑：赤字事業である競馬組合・市立病院・中央卸売市場について、今後の方向性は。

回答：競馬組合は、赤字となった年度で事業終了ということで現在も運営している。今年は運営状況が少し良いようだが、まだ県や盛岡市からの借入金を返すまでには至っていない。

市立病院はここ数年、赤字金額が減少してきている。25年度決算は、6,718万円の赤字であったが、今年度収支均衡を目指している。今後、敷地を貸して実施する新事業なども予定されており、黒字化を期待している。

中央卸売市場は、厳しい運営状況であり、今後、経営形態も踏まえ分相応の運営をすることが必要である。現在は、空き部屋の賃貸やメガソーラーの誘致など遊休地を活用した利益確保策に取り組んでいる。

質疑：旧玉山村との合併 10 年の区切りを迎えるに当たり、総合事務所や地域協議会の体制、新市建設計画で遅れている事業などについて、議会に対し区民として声を上げることがあると思うが、その際は玉山区民の要望を尊重してほしい。

回答：新市建設計画の未着手事業は、新しい総合計画に位置づけるなど、地元と一体となって 10 年経過後も進めるべきと考えている。また、合併後 10 年を迎えるこれからの 2 年間で、市と議会とで今後の方向性について議論していく。

(意見・要望等)

- ・ カジノ法案反対の意見書を国に提出してほしい。
- ・ 病院事業会計の赤字を解消するよう市長に伝えてほしい。

盛岡市議会議長 様

平成 26 年 11 月 21 日

上記のとおり報告します。

代表者 菊田 隆

議会報告会報告書(第2班)

開催日時	平成 26 年 11 月 13 日 (木) 19 時 00 分～20 時 10 分
開催場所	乙部農業構造改善センター
出席議員	大畑正二 副議長 報告者 鈴木礼子 細川光正 竹田浩久 神部伸也 村上貢一 工藤由春 櫻裕子 司会者 佐々木弥一
参加人数	17 人

(質 疑)

質疑：自治会で防災組織を作ったが、防災訓練を実施することが困難な状況だ。行政側（市職員の協力）の全員参加型訓練のフォローをお願いしたい。

回答：防災訓練を実施している自治会もあるが、実施できない自治会は、独居世帯の把握や防災マップの作成を行うなど、実施可能な範囲で災害に備えている。今後、町内会・自治会協働推進計画では地域担当職員の配置が予定されており、防災訓練等も相談して行えるようになるのでは。

質疑：乙部中学校の屋根の腐食が目立つので塗装をお願いしたい。

回答：現在、耐震化工事を重点に実施しているが、学校の修繕については当局に要望していく。



質疑：入札不調が続いているが、昨年度実施予定の黒川の用水路が今年度もまた不調だと工事ができなくなる。入札制度の市の改善策はどうか。入札不調の場合は農地水協議会に予算を付けた方が実現が早いのではないか。

回答：昨年度は入札不調が 41%、未執行率が 15%と把握している。技術者不足、資材や労務単価の上昇もあったことから、柔軟な工期の設定、工事金額及び件数に枠を設けての現場代理人の複数現場の届け出などを認めてきた経緯がある。

質疑：議員報酬や議員定数、政務活動費について盛岡市議会はどのような水準にあるのか。

回答：議員定数は東北の県庁所在地では 4 番目。議員報酬は 5 番目。政務活動費は一ヶ月 5 万円で 60 万円だ。議員定数を減らすことは、市民の代弁者が減ることでありこれでもいいのかとの議論もある。

政務活動費は、議会として議論し使用項目も厳格にした。収支報告書提出の際、領収書の添付を義務とし、残金が生じた場合は返金の手続きを取っている。

(意見・要望等)

- ・ 団地の堤防側にガードレールを一部設置したが、引き続き残りの部分の設置をお願いしたい。団地の入り口付近にカーブミラーを早急に設置してほしい。

盛岡市議会議長 様

平成 26 年 11 月 21 日

上記のとおり報告します。

代表者 鈴木 礼子

議会報告会報告書(第3班)

開催日時	平成 26 年 11 月 12 日 (水) 19 時 00 分～20 時 30 分
開催場所	築川老人福祉センター
出席議員	大畑正二 副議長 報告者 佐藤妙子 兼平孝信 鈴木一夫 庄子春治 村田芳三 佐藤千賀夫 伊達康子 司会者 遠藤政幸
参加人数	20 人

(質 疑)

質疑：水道事業未処分利益剰余金はどのくらいなのか。

回答：8 億 8,000 万円ほどになっており，減債積立金に積み立てた。

質疑：特別会計において，減価償却費など明確に示されているか。

回答：減価償却費などきちんと示されているのは，企業会計をとっている水道，下水道，病院の各事業会計においてである。特別会計は一般会計と同様であり，決算において減価償却費などは示されていない。但し，盛岡市では全体の財務指標において資産や債務の状況を公表している。

質疑：日本創成会議の報告にもあるように，人口減少社会は盛岡市とて例外ではない。市議会からも早く色々の提案を出してもらい，地域での議論が活発になるよう火を付けて欲しい。また，議会において議員の提案はどのくらいあるのか。どのくらい議論されるのか。熱い討議を期待する。



回答：最近では議会基本条例や乾杯条例，商店街の活性化に関する条例など提案してきた。皆さんからご提案いただいたことを積極的に市政に提案していきたい。また，議会改革として，請願，陳情において積極的に提出者から意見を聞くこととした。なお，議会用語として，「議決」は議案などを審議し，その可否を決定すること，「認定」は前年度の決算を認めること，「発議案」は議員が提案する議案のことである。

質疑：川目小学校の閉校が噂されるが，議会の意見は。

回答：市内の学校の状況は教育委員会からも情勢は聞いている。議会でも多方面から議論している。最終的には議会の議決により決定される。

質疑：空き家等の適正管理に関する条例において、どのように空き家が管理されるのか。

回答：空き家等の色々な問題が生じている。市として、適正に管理されていない空き家等を調査し積極的に改善を図っていこうとするもの。持ち主へできるだけ早く改善するよう勧告などを行う。

質疑：市議会だよりを楽しみにして読んでいるが、結果に至る過程も載せてもらいたい。

回答：市議会だよりの紙面については常に議会広報委員会で検討されている。見やすい紙面などについて、我々からも提案していきたい。

質疑：医大移転に伴う跡地利用など、中心市街地の課題は議会においてどのような議論になっているか。また、新市役所のビジョンはどうか。

回答：中心市街地活性化計画については、国の認可を受け現在、計画策定中である。土地利用については、議員個々の立場で発言している。市の計画がまだ示されておらず、状況を見守りながら議会としても対応していく。また、市役所は現在耐震化工事中である。しかし、いずれ新築は避けられないため、それに備えて現在、建築のための基金造成を行っている。情勢を見据え議論していく。

質疑：災害発生時の避難勧告や避難所の開設についての情報の流れ方はどのようになっているのか。町内会役員だけが携帯電話でしか情報を得ることできない状況である。

回答：市役所に災害対策本部が設置され、本部の判断で避難勧告などが出される。昨年の大雨災害などの反省から、今年8月に発令のための基準を定めマニュアル化を図った。その伝達方法はメールやFM盛岡などテレビ・ラジオ放送を通じて行うほか、町内会長から段階的に防災ラジオの普及を図ることとなった。

質疑：町内会長をしており、市から緊急連絡先を教えてくださいと言われて教えたが、何の連絡もない。また、避難所開設の時の統一的な連絡方法が検討されているようだが、その状況はどうか。

回答：緊急連絡がある場合は情報が行くと思う。避難所開設についての連絡方法等については検討中ということは議会にも報告されているが、結果はまだ報告されていない。

質疑：築川ダム建設に関連して護岸工事も行われているが、河川内の樹木管理はどうなっているか。最近のゲリラ豪雨などにより、なぎ倒された樹木が橋桁などに積み重なり、水をせき止め堤防からあふれる事故が心配される。管理はどのようになっているのか。市では行わないのか。

回答：築川ダムについては県が管理している。昨年の玉山区での水害以降、県も樹木除去や川底さらいの頻度を上げていくこととしているようだ。県管理の場合でも市役所や市議会に情報をよせて欲しい。県へ要望していく。

(意見・要望等)

- 乾杯条例ができて喜んでいるが、市内だけでは好きな酒がない。県内には色々な造り酒屋もあるため、県の条例に格上げできないか。県に呼びかけはできないか。
- 築川地区をはじめ東部地域の地域活性化のためにスポーツツーリズムを利用すべきと考えるが、どうか。自転車レースや盛岡マラソンなどを導入してはどうか。
- 市には課題解決のための審議会があり、委員の構成を見ると有識者や経験豊富な方などが多いが、少子化については、西和賀町で行っているように若い女性や現役子育て世代の方々に多く参加して頂き、解決策をまとめていってはどうか。

盛岡市議会議長 様

平成 26 年 11 月 21 日

上記のとおり報告します。

代表者 兼平 孝信

議会報告会報告書(第4班)

開催日時	平成26年11月13日(木) 19時00分～20時10分
開催場所	西厨川老人福祉センター
出席議員	大畑正二 副議長 報告者 高橋重幸 天沼久純 池野直友 豊村徹也 後藤百合子 佐藤栄一 高橋和夫 司会者 佐々木信一
参加人数	16人

(質疑)

質疑：市のホームページ上には、市民の意見・要望などをメールで受け付ける窓口をもうけているが、市議会のホームページ上にはもうけていないのか。

回答：設けていない。事務局に電話でお伝え頂くか、それぞれの議員にメールで連絡して頂いている。

質疑：政務活動費が全国で問題になっているが、盛岡市議会では領収書添付義務などについてどのような状況になっているか。

回答：領収書の添付は1円単位で厳格に行っている。また、広報作成や視察、資料の購入等の支出項目についても限定している。

質疑：災害時の指針の概略を示してほしい。

回答：危機管理・災害対策特別委員会の要請を受け、昨年発生した災害対応の反省も踏まえて指針を作成した。市の指針とも連動する内容だが、議員の安否確認、対策本部への連絡方法等、独自の内容も盛り込んでいる。



質疑：議長・副議長の選出方法について、どのように変わったのか。

回答：従前は会派で正副議長候補者を選んだうえで選挙を行っていて、誰が立候補していたか不明な状態だった。前回からは、2名以上の議員から推薦を受けた立候補者が所信表明を行ったうえで選挙をするように変更し、選出過程が明確になった。

質疑：議員の賛否の公表はどの議会でも採用しているのか。

回答：議会基本条例を制定する等、開かれた議会を目指す中で、少数派ではあるが増えてきている。

質疑：議員定数は現在 38 名だが、人数に関しての意見はないのか。

回答：それぞれの自治体の事情もあるところだが、盛岡市議会の議員数は東北の主要都市と同程度である。

質疑：本会議の傍聴者は何人ぐらいあるのか。また、傍聴の際に住所・氏名など記載するのか。

回答：数名のこともあるが、一般質疑の際に後援会の方が数十人いらっしゃることもある。住所・氏名等の記載は不要で、入場しやすいスロープも設置したので是非お気軽に傍聴にお越しいただきたい。

質疑：空き家条例について、空き家の判断はどのように行うと定めたのか。

回答：空き家や空き地が適正に管理されているかがポイントとなる。外見のみでは判断できないこともあるので、町内会や市で実態調査を行う。

(意見・要望等)

・特になし

盛岡市議会議長 様

平成 26 年 11 月 21 日

上記のとおり報告します。

代表者 佐々木信一